

# NEWS CIT

2017  
1.15  
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部  
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼  
2丁目17番1号  
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

## ニュースガイド

- 2面 脇田研・パウカルさん小谷さん受賞/下川さん最優秀賞、秋山さんら2位/橋本教授ら自家骨化しやすい補填材開発/教育功労者表彰=土手内課長、上杉課長
- 3面 千秋上席研究員が「火星探査車、審査/荒井上席研究員が「研究への思い」講演/きぼ一で中川助教らWS/千葉エリア産学官フォーラム/新種サンゴに松本研究員の名前
- 4面 地域と本学連携イベント=ルミラージュちば、御宿、浦安、香取・神南小
- 5面 同一習志野、香取・栗源小/三輝さん落語講演会/校友「桐生宇優さん」
- 6面 12月キャンパス見学DAY、クリスマスイルミネーション・イベント/訃報

# 英財務相が視察

## fURO最先端ロボットタウンキャンパスで



ハモンド財務相(中央)に櫻杏號を説明する吉田主席研究員(左隣)と小宮学長

この日のハモンド財務相の東京スカイツリータウンキャンパス来訪は、菅義偉官房長官や麻生太郎副総理・財務相との会談など刻みのスケジュールの中で、英国側の強い要望で実現した。ヒッチェンス駐日大使を伴ってスカイツリータウン8階までエスカレーター

## EU離脱交渉控え 技術の方向性探る

欧州連合(EU)からの離脱交渉開始を今春に控えている英国のハモンド財務相が12月15日、東京スカイツリータウンキャンパスを訪れ、未来ロボット技術研究センター(fURO)が開発した世界最先端のロボットを視察した。英国はEU離脱による経済の不透明化を回避し活性化するために、ロボットや人工知能などの技術開発に注目しており、fUROのロボットから今後の技術開発の方向性を探るヒントを得たいとの思いがあったようだ。



「魔法のカード」で投影を試す

き目を細めながら、説明役の大和秀彰主席研究員に「このロボットのキーテクノロジーは? どんな応用が考えられますか」など質問。人を感じ



火星探査船シミュレーターを操縦体験

また、「Hailuc IIx (ハルクツ) カイ)は小太刀宗研究員、ILYIA (アイリーエー)は萩原一輝研究員が操縦。同相は「Hailuc IIx」のユーモラスな動きに目を細めながら、説明役の大和秀彰主席研究員に「このロボットのキーテクノロジーは? どんな応用が考えられますか」など質問。人を感じ

田智章主席研究員に「倒壊したビルの中など過酷な現場でも動けませぬ」カメラの映像を見て遠隔操縦するのですね」などの確かな質問。小宮学長が、熊本地震で崩壊した宇土市役所庁舎の内部調査のために使われたことを紹介した。

な現場でも動けませぬ」カメラの映像を見て遠隔操縦するのですね」などの確かな質問。小宮学長が、熊本地震で崩壊した宇土市役所庁舎の内部調査のために使われたことを紹介した。



石川高専と連携協定  
本学は、地域で有能な工科系人材を育てようと12月22日、独立行政法人国立高等専門学校機構石川工業高等専門学校(石川県河北郡津幡町)須田義昭校長・生徒約1100人と、教育・研究活動全般に係る「包括的な連携に関する協定」を締結した。

この実験はイングランの鉄道施設の大半を所有・管理する「ネットワーク・レール」がかつてケンブリッジ大に勤務していた小宮学長に依頼、古田所長をはじめfUROの全面協力を得て実現した。

2016年度卒業研究展  
デザインの根  
2017.2.5 SUN / 6 MON 10:00-17:00  
千葉工業大学津田沼キャンパス 2号館1階・3階/4号館1階

デザイン学科の学生たちが4年間の集大成を発表します。「デザインの根」は、さまざまなデザインの「根」を学んだ学生たちが大きな木へと成長することを期して名付けました。期間と場所はポスターの通りです。ぜひご来場ください。

知ると自動的に走行停止する「ILYIA」の人工知能技術にも興味を示していた。30分の視察を終えた同相は「これまでも英国と日本は緊密に協力して関係を深めてきました。今後もこの協力関係がより深まることを楽しみにしています」。これに対して小宮学長は「本学には人工知能・ソフトウェア技術研究センターもありますから、手を取り合っただけでなく、本学と英国はこれまでも深い関係を築いてきた。一昨年7月にはfUROのチームが英国で「櫻杏號」を使って鉄道施設の健全性の調査実験を行った。この視察の様子は12月16日夜、安倍首相とロシ



# 応用物理学会で 脇田研の2人受賞



### R・パウカルさん

博士後期課程3年II写真）が「ZnS結晶における偏光ラマン散乱スペクトルの温度依存性」を英文でポスター発表し、優秀ポスター賞を受賞した。

▼三元タリウム系化合物の熱電特性で優秀ポスター賞

太陽光発電の材料などを追求する脇田和樹教授の研究室の大学院生2人が、応用物理学会の研究会で成果を発表し、表彰された。

従来の光学分野に加え量子論的なフォトニクス関連領域を扱う応用物理学会フォトニクス分科会の第1回フォトニクス研究会「光の境界を開拓する!!」(12月2、3日、那覇市の沖縄県青年会館で開催)で、パウカル・ラウルさん(工学専攻

三元タリウム系化合物は二次元結晶構造に由来して、温度の低下につれて構造相転移(結晶が対称性の異なる構造に変わる現象)し電氣的・熱電的性質が変化するため、熱電発電の材料として期待されている。しかし基礎物性と構造相転移との関係が十分に説明されていない。

環境に調和した太陽電池へ薄膜作製研究  
応用物理学会の多元系化合物・太陽電池研究会年末講演会(12月9日、



### 小谷さん講演奨励賞

福島県郡山市の産業技術総合研究所・福島再生可能エネルギー研究所(所で開催)で、小谷昌大さん(電気電子情報工学専攻修士2年II

日、ふくしま磐梯熱海温泉ホテル華の湯で行われた。三元系半導体Cu<sub>2</sub>ZnSnS<sub>4</sub>(以降CZTS)は希少元素や有毒元素を用いない環境調和型の半導体。太陽電池材料として期待され、これまでにCZTSを光吸収層として用いる際の最適組成比率が報告されている。

小谷さんらは、パルスレーザー堆積法(PLD法)IIレーザーを1秒間に数回ターゲットに打ち付け物質を蒸発させて基板まで飛ばし、堆積させた方法IIで薄膜を作る際に使うCZTS多結晶ターゲットの組成比率を最適に制御するため、溶媒を用いない固相反応法で多結晶を作り、評価

した。また、PLD法でCZTS薄膜を作り、物性を解析した。この結果、作製したCZTS多結晶と薄膜は、均一性が高いことを確認。また、SnSなどの異相物質がないことも、X線回折測定とラマン分光法測定で確かめた。作製プロセスが複雑で、試料を統括し研究を

取りまとめるのに苦労した。データベースを作り共同研究者とうまく連携できたことが成果につながったという。発表20件中、2件が受賞した。小谷さんは「大変光栄です。脇田先生と研究室の方々にお礼を申し上げます。今後も精進します」と語った。

## 下川さん最優秀賞

▼関東学生景観デザインコンペ

2位も  
秋山さんら

第3回関東学生景観デザインコンペティション(関東学生景観デザインコンペ実行委員会主催)の公開審査会が昨年11月27日、埼玉県和光市中央公民館で開かれ、下川翔平さん(建築都市環境学専攻修士1年・今村創平研究室)の「屋根倉が紡ぐ大地の営み」が最優秀賞に選ばれた。

きづく風景が選ばれた。上位3作品は市民のために12月中は和光市中央公民館、1月は12日まで市民文化センターで展示された。

見された田畑地帯をたどらせた。屋根の下には倉や作業場を設け、周辺の人々が暮らしを営み続けるための場所をつくった。

く、この場所で暮らす古代と現代の人々が繋がるための場所と景観を、さまざまな形態の屋根によってつくり出すことができた。



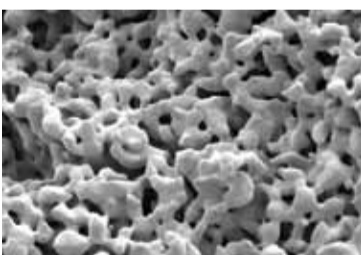
最優秀賞の下川さんとその作品「屋根倉が紡ぐ大地の営み」

ら興味があった考古学と今学んでいる建築を介して、古代遺跡を残していく提案ができたと思えます。市長や和光市民から多くの意見が頂け勉強になりました」と語った。

優秀賞・秋山さんらの提案は、遺跡群を歴史的価値に加え町の生活環境を形成する場と捉え、史跡公園の在り方を再構成したもの。3人は「地域の人々とのデザインセッションの中で審査が進められるという貴重な場で、建築を見つめ直す機会になりました」と語った。

## 自家骨化しやすい補填材

▼橋本教授が産学連携で開発



開気孔率が高まる。このため孔内に細胞や血液が入って、患者自身の骨組織と一体化する「自家骨化」がしやすい。なる特長をもつという。

橋本教授の話 私にとって10年がかりの研究に1つの結果が出たわけだが、周辺特許の申請から製品化まで研究はさらに息長く続きます。これから外部企業と協力しながら、人の役に立つものを社会に送り出していきたい。

## 土手内課長 教育功労者表彰



土手内徹課長

本校の土手内徹・学務部学務課課長と上杉千佳就職・進路支援部就職課課長が12月3日、千葉県私立教育振興財団から教育功労者として表彰された。土手内課長は平成元年4月に勤務以来、人事課、秘書チーム、国際交流課、入試広報課、学務課で、持ち前のバイタリティーを発揮して業務を遂行。平成8年度には本学国際交流の先駆けとして中国・哈爾濱工業大で海外研修を経験しグローバル化に貢献した。



上杉千佳課長

上杉課長は平成元年4月に勤務以来、人事課、就職課、就職課で熱心に職務を遂行。特に学部・学科改組に伴う教育課程変更、教学システムの導入などで複雑な業務をこなし、本学発展のために尽力した。



# 夢の火星探査車を審査

## ▼ 千秋上席研究員 千葉の小・中学生コンテストで

小学生と中学生が自分たちで作った火星ローバー(探査車)の性能やデザインを競うコンテストが12月3日、千葉市中央区の千葉市科学館で開かれ、惑星探査研究センター(PERC)の千秋博紀上席研究員が小学生部門の審査員を務めた。

今年で18回を迎えた「火星ローバーコンテスト in 千葉」にPERCはこれまで審査員を派遣しており、千秋上席研究員は3回目。



①表彰された小学生たちと記念撮影する千秋上席研究員(後列左端)②作品にアドバイスする千秋上席研究員(中央)

コースで走らせたり、与えられたミッションをクリアしたりするもの。これによって子どもたちの目を宇宙や機械に向け、

科学技術への関心を高めるのが狙いだ。今回、小学生部門には「入門編」のベーシック部門と「応用編」のアドバンス部門とを合わせて26

チームが参加。千秋上席研究員は「科学都市」を標榜して科学教育振興策や先端技術を活用した



千葉市は「科学都市」を標榜して科学教育振興策や先端技術を活用した

# 「研究への思い」講演

## ▼ 荒井上席研究員 キャンパス見学DAYで

「津田沼キャンパス見学DAY」の12月18日、惑星探査研究センター(PERC)の荒井朋子上席研究員が、訪れた高校

生・受験生や保護者・一般来場者たちに、惑星科学研究者としての経験や生き方を語りかけ、大きな拍手を浴びた写真。

講演は荒井上席研究員もメンバーに加わっている。「千葉工業大学・女性研究者ネットワークフォーラム」の企画で、タイトルは「宇宙から

の流星観測プロジェクト『メテオ』最新状況と今後の展望。会場の4号館435教室には約1000人が詰めかけた。

荒井上席研究員は「地球や太陽系の歴史を記録する化石や隕石について知りたい」との思いから大学は地質学科に進んだ。大学院時代にアメリカ航空宇宙局(NASA)のジョンソンスペースセンターでアポロ探査で持ち帰られた月の岩石を研究する機会に恵まれ、地

球外の天体の探査に興味を持ち、学位取得後は宇宙開発事業団宇宙航空研究開発機構(JAXA)の前身に就職した。配属された国際宇宙ステーションプロジェクトの職場では約200人の同僚職員の中で、女性は宇宙飛行士になった山崎直子さんと2人だけだったこと。その後、月など地球外の天体の「岩石」を研究し続けたいとの思いから、JAXAを退職し国立極地研究所を経て本学に移籍。2013年に参加した米国の南極探査隊では研究者10人のうち4人が女性だった。なか、日米欧の研究

環境の違いを紹介した。現在取り組んでいる「メテオ」は、地球に飛来する流星の塵を手がかりに「生命と太陽系の起源」に挑む壮大なプロジェクトで、民生品を活用し開発期間とコストを抑えたコンパクトな宇宙科学ミッションでもある。2度の打ち上げロケット爆発や国際宇宙ステーション側の不具合に遭遇しながらも、流星観測は昨年7月、順調にスタート。近く最初の研究成果について論文執筆にかかると予定だと語った。

千葉工大・女性研究者ネットワークフォーラムは小浦節子応用化学科教授の呼びかけで2015年5月に発足。現在14人の女性教員が参加している。ネットワークの目的は女子学生にとどまらず全ての学生に、将来どんな道があるかというロールモデルを示すこと。また、社会の多様化に伴う女性研究者の活動分野の広がり(ダイバーシティ)についても学生たちに紹介したいとしている。

小浦教授は荒井上席研究員の講演について「いろいろな研究には女性・男性の差があるのではないかと、いかに強い思いで挑むかが重要なのだと感じました」と話した。

授の呼びかけで2015年5月に発足。現在14人の女性教員が参加している。ネットワークの目的は女子学生にとどまらず全ての学生に、将来どんな道があるかというロールモデルを示すこと。また、社会の多様化に伴う女性研究者の活動分野の広がり(ダイバーシティ)についても学生たちに紹介したいとしている。



教授は荒井上席研究員もメンバーに加わっている。「千葉工業大学・女性研究者ネットワークフォーラム」の企画で、タイトルは「宇宙から研究する機会に恵まれ、地

球外の天体の探査に興味を持ち、学位取得後は宇宙開発事業団宇宙航空研究開発機構(JAXA)の前身に就職した。配属された国際宇宙ステーションプロジェクトの職場では約200人の同僚職員の中で、女性は宇宙飛行士になった山崎直子さんと2人だけだったこと。その後、月など地球外の天体の「岩石」を研究し続けたいとの思いから、JAXAを退職し国立極地研究所を経て本学に移籍。2013年に参加した米国の南極探査隊では研究者10人のうち4人が女性だった。なか、日米欧の研究

環境の違いを紹介した。現在取り組んでいる「メテオ」は、地球に飛来する流星の塵を手がかりに「生命と太陽系の起源」に挑む壮大なプロジェクトで、民生品を活用し開発期間とコストを抑えたコンパクトな宇宙科学ミッションでもある。2度の打ち上げロケット爆発や国際宇宙ステーション側の不具合に遭遇しながらも、流星観測は昨年7月、順調にスタート。近く最初の研究成果について論文執筆にかかると予定だと語った。

千葉工大・女性研究者ネットワークフォーラムは小浦節子応用化学科教授の呼びかけで2015年5月に発足。現在14人の女性教員が参加している。ネットワークの目的は女子学生にとどまらず全ての学生に、将来どんな道があるかというロールモデルを示すこと。また、社会の多様化に伴う女性研究者の活動分野の広がり(ダイバーシティ)についても学生たちに紹介したいとしている。

小浦教授は荒井上席研究員の講演について「いろいろな研究には女性・男性の差があるのではないかと、いかに強い思いで挑むかが重要なのだと感じました」と話した。

授の呼びかけで2015年5月に発足。現在14人の女性教員が参加している。ネットワークの目的は女子学生にとどまらず全ての学生に、将来どんな道があるかというロールモデルを示すこと。また、社会の多様化に伴う女性研究者の活動分野の広がり(ダイバーシティ)についても学生たちに紹介したいとしている。

小浦教授は荒井上席研究員の講演について「いろいろな研究には女性・男性の差があるのではないかと、いかに強い思いで挑むかが重要なのだと感じました」と話した。

授の呼びかけで2015年5月に発足。現在14人の女性教員が参加している。ネットワークの目的は女子学生にとどまらず全ての学生に、将来どんな道があるかというロールモデルを示すこと。また、社会の多様化に伴う女性研究者の活動分野の広がり(ダイバーシティ)についても学生たちに紹介したいとしている。

# クリスマス小学生WS

## ▼ きぼーるで中川助教と学生たち

千葉市科学館(愛称きぼーる)千葉市中央区)で小学生向けクリスマスワークショップ(Wークショップ)が昨年10月29、30日、11月5、6日の4日間、本学情報ネットワーク学

科の中川助教らと千葉商工会議所の協力で開かれ、延べ約70人の子どもたちが「クリスマスリース」と「LEDキャン



EDキャンドル」作りを楽しんだ写真。千葉市中央公園や通りをイルミネーションで彩る「ルミライジューチャーズ」が昨年10月29、30日、11月5、6日の4日間、本学情報ネットワーク学

科の中川助教らと千葉商工会議所の協力で開かれ、延べ約70人の子どもたちが「クリスマスリース」と「LEDキャン

EDキャンドル」作りを楽しんだ写真。千葉市中央公園や通りをイルミネーションで彩る「ルミライジューチャーズ」が昨年10月29、30日、11月5、6日の4日間、本学情報ネットワーク学

EDキャンドル」作りを楽しんだ写真。千葉市中央公園や通りをイルミネーションで彩る「ルミライジューチャーズ」が昨年10月29、30日、11月5、6日の4日間、本学情報ネットワーク学

# ゲームで基礎力向上

## ▼ 遠山教授講演 9教員もポスター発表

千葉エリアの大学や研究機関の研究成果を域内の企業や地域社会の発展につなげようという「千葉エリア産学官連携オープンフォーラム」が昨年11月25日、千葉大学西千葉キャンパスで開かれ、本学プロジェクトマネージャメント学科の遠山正朗教授が研究シーズ講演した

ほか9人の教員が研究をポスター発表した。遠山教授の発表は「PM教育を介して社会人基礎力を育成するヒトづくりにプログラム研究」。マネジメントゲームを活用して社会人基礎力の向上を効率的に行う教育の理論と応用例を、ポスター展示と併せて紹介した。

この中で同教授は、①新入社員教育などに用い

材料などで、リースとキャンドルを自由な発想で作る上げ、LEDキャンドルは自宅に飾ろうと持ち帰った。リースはルミ

子どもたちは用意された材料などで、リースとキャンドルを自由な発想で作る上げ、LEDキャンドルは自宅に飾ろうと持ち帰った。リースはルミ

子どもたちは用意された材料などで、リースとキャンドルを自由な発想で作る上げ、LEDキャンドルは自宅に飾ろうと持ち帰った。リースはルミ

# 松本研究員の名前に新種サンゴに命名

## ニュージールランドの深海サンゴの新種に惑星探査研究センター(PERC)の松本亜沙子研究員(非常勤)写真)の名前が付けられた。



調査に立ち寄った際、パーティー会場、同館のサンゴ研究者で旧知のスチファン・D・ケアンズ博士からサプライズがあった。

ケアンズ博士は松本研

調査に立ち寄った際、パーティー会場、同館のサンゴ研究者で旧知のスチファン・D・ケアンズ博士からサプライズがあった。

ケアンズ博士は松本研

ケアンズ博士は松本研



本学は地方創成に協力しようと浦安市、習志野市、香取市、御宿町の各市町と包括的な連携協定を結んでおり、今年度もさまざまな協力イベントを行った。

# 世界一行きたい科学広場

浦安で応用化学科・寺本研



昨年11月26日には浦安市東野の東海大付属浦安高校中等部体育館で「世界一行きたい科学広場」が開かれた。

親子で気軽に参加できる地域密着型科学イベントと銘打ち、地域の産官学関係者や住民が協力。本学からは応用化学科・

寺本直純准教授の研究室が、おなじみとなった「人工イクラを作ってみよう」いろいろな色のイクラ?」教室を開いた。

顔料・染料を加えたアルギン酸ナトリウム水溶液、塩化カルシウム水溶液から人工イクラ(カプセル状のアルギン酸カルシウムゲル)をつくる実験で研究室の学生たちが丁寧に指導した。子どもたちはストローをコップに挿して一滴、また一滴と、慎重に少しずつを落とし、コップの中心に黄、赤、緑と色とりどりのイクラが生成されていく様子を楽しんだ。

## 地域と本学 連携イベント



浦安市富士見の堀江公民館で昨年11月6日、デザイン科学科・山崎和彦



浦安市富士見の堀江公民館で昨年11月6日、デザイン科学科・山崎和彦

研究室の学生らが中心となって参加型アートのワークショップ(WS)「魔法のひみつ『キラキラ』で遊ぼう!」を開いた。

研究室内の学生らが中心となって参加型アートのワークショップ(WS)「魔法のひみつ『キラキラ』で遊ぼう!」を開いた。

香取市下小野の神南小学校で昨年11月21日、教育センターの轟木

使った工作で、磁気から電気を作る発電の原理を

## プロジェクトで遊ぶ マッピングで遊ぶ

プロジェクトで遊ぶ。マッピングで遊ぶ。

プロジェクトで遊ぶ。マッピングで遊ぶ。

プロジェクトで遊ぶ。マッピングで遊ぶ。

プロジェクトで遊ぶ。マッピングで遊ぶ。



LED演出に活躍 ルミライージュちばでデザイン科学科

千葉市の中心街をイルミネーションで彩る「ルミライージュちば2016」(第26回千葉都心イ

ルミネーションは12月1日〜2017年2月14日の点灯式が12月1日、千葉市中央公園であった。写真上。

本学は昨年度から企画運営に全面協力。市民の参加意識を高め街全体の活性化につなげよう、とデザイン科学科がコン

セプト設定や実行プランづくりに携わり、イルミネーションMAPやポスターを制作した。点灯式のプロモーション

今年約30万球のLEDが、JR千葉駅から中央公園アロムナードの木々、市街を鮮やかに彩った。

講師で建築家の一色博貴さん、材料加工は御宿町で工務店を営む本学OB・小山武治さんが担当。廃校となった旧岩和田小学校を会場に、前半は8つのブース巡り。学生たちは小グループに分かれ

子どもたちをサポートした。1つ目は本プロジェクトに備え子供と学生でマ

「ごども工務店」開催 御宿で建都学生たち

房総・御宿町の青年・子どもたちとともに地方創生の課題解決プロジェクトを進めよう、と建築

年10月23日、第一弾「ごども工務店」を開催。地元の子もたち72人と木製のマルチブロックを作り、使い道を一緒に考え

た。写真上。副題は「ごども大工さんのつくるまち」。企画・設計は本学非常勤

子どもたちをサポ

ちの発想が飛び交った。他に、のこぎり体験、ユニボ操縦体験など全8

子どもたちが安全に使えるよう注意を払って設置した。

## 電磁気の不思議

香取市下小野の神南小学校で昨年11月21日、教育センターの轟木

「わー、かわいい」「すごい!」と喜びの声が上がった。

は傍らで「メダル」作り。愛情を込めた色とりどりのメダルが、頑張ったごほうびに子どもたちに贈られた。

楽し学んだ。授業のまとめに児童たちは、自分で導線をまいたコイルでクリスマスツリー作り挑戦。ライトが付くと大きな歓声が上がった。

子どもたちが安全に使えるよう注意を払って設置した。

子どもたちが安全に使えるよう注意を払って設置した。

子どもたちが安全に使えるよう注意を払って設置した。



# サイエンスしよう

## ■新習志野公民館で出張講座

習志野市秋津の新習志野公民館で昨年11月23日、公民館と本学協働の出張講座「千葉工大とサイエンスしよう」が開かれた。

市民には、大学が近くにありながら、その研究成果はなかなか知ることが出来ない。講座やワークショップでサイエンスに触れ、千葉工大と交流を進めたいと企画された。

子ども向けには▽リサイクルで宇宙船作り▽ロケットの構造を知ろう▽ロボット操縦体験▽金属材料でストラップ作り。他に大人も一緒に楽しめる「コマ大戦」、成人向け「ペーパークラフト」と、計6講座を開いた。

ロケット講座やストラップ作りは、専門的



子ども向けには▽リサイクルで宇宙船作り▽ロケットの構造を知ろう▽ロボット操縦体験▽金属材料でストラップ作り。他に大人も一緒に楽しめる「コマ大戦」、成人向け「ペーパークラフト」と、計6講座を開いた。

な話を交えながらも分かりやすくサイエンスに触れることができ、付き添った大人も「知らなかった。勉強になるね」。

「コマ大戦」▽写真11では学生たちが、材料によって回転数が変わることや、重心を変えたり強いコマにする秘訣を説明。その後トーナメント方式で対戦した。力や経験の差で大人がやや有利な展開。みんなが勝負の行方に一喜一憂した。大人向けペーパークラ

# ロボット操縦体験 未来社会は？

## ■香取・栗源小で総合工学研とfURO



香取市岩部の栗源小学校で昨年11月13日、本学文化会サークル・総合工学研究会（石川直生部長）と未来ロボティクス学科2年の学生たちによる「ロボット操縦体験」と、未来ロボット技術研究センター（fURO）の先川原正浩室長による「ロボット講義」が開かれ、5、6年生児童約60人が参加した。

まず、ロボット操縦

「操縦したい人！」の声に、周りを囲んだほぼ全員が手を挙げ、次々と操縦に挑戦した。

コントローラーの簡単な操作でロボットが機敏に動き、歓声が上がった。倒れても起き上がる様子に驚きの拍手が起きた。

続いて先川原fURO室長が講演。未来のロボット社会がどうなるのか、役に立つ最新ロボット事情を紹介した。

体験に挑戦し写真。総合工学研の5人が、製作した2足歩行ロボットを持ち込んで機能などを紹介。

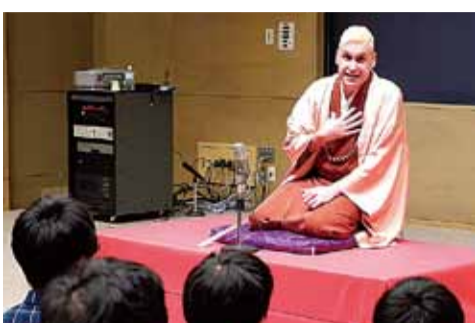
フトは、有名建築家の細かい建築模型を集中して作る過程を楽しんだ。参加者は全体で約200人。4時間という短時間ながら、いろいろなサイエンス、工学をそれぞれに楽しんでいた。

# 三輝さん輝く話芸

## ▼落語講演会

大学事務局・学生センター主催の「落語講演会」が12月8日夜、新習志野キャンパス1号館で開催された。海外に日本の文化を紹介できるようにってほしいという講座の第2弾で、参加は先着50人。協定校の神田外語大生らも参加し、カナダ出身の噺家・桂三輝さん▽写真11の話を聴き入った。

三輝さんは母国カナダで知られたミュージカル



作家だったが、来日して落語に魅せられ桂三輝さん（現六代目・桂文桂）さんに弟子入り。上方落語初、戦後日本初の外国人噺家となった。本編前に場を温める、いわゆる「枕」で学生たちを湧かせた三輝さんは、有名な「寿限無」を英語落語にして披露。続けて古典「味噌豆」、新作「動物園」など、分かりやすい噺が続ぎ、同席した留学生たちも大笑い。

最後は三輝さん自身の創作「野球」で締めた。開催目的に沿って特に質疑応答があり、学生から「若い人の落語離れをどう感じているか」と質問が飛んだ。三輝さんは「落語人気には波がある。NHK朝の連続テレビ小説『ちりとてちん』放送時は寄席にお客さんがあふれた。今も落語を題材にしたアニメがあるのでは、そんなに人気がないとは思っていない」。

さらに「落語は海外でいうスタンドアップコメディにあたるが、ス

Tand アップコメディは言葉が汚く、子供を連れていけない。落語は大人も子供も楽しめる。元々は日本語でも英語にもできる。枕は軽い話題で、本題の噺は伝統。2つの面白さが一緒になっている」と答えた。

参加学生たちからは「海外にも落語の面白さが伝わるのが不思議に思った」「落語を初めて生で聴いたが、引き込まれるような言葉遣いで大変楽しい時間だった」などの感想が寄せられた。

# 活躍する 校友

北雄ラッキー株式会社社長  
桐生 宇優さん (51歳)  
(昭和63年、工業経営学科卒)

ビジネスの世界は消費者ファースト。北海道で食品を中心に35店舗を展開するスーパー「北雄ラッキー」(本社・札幌市手稲区)の社長、桐生宇優さんの話を聞いていると、そんな思いを強くする。大手スーパーを横目に、地域で生き残る独自の経営哲学と

2年生から大学近くのアパートへ。卒業まで講義とバイトの日々を過ごした。4年の夏休みには、遊園地「豊島園」(東京都練馬区)へせつせと通った。園内の軽食スナックをフィールドにした卒業研究のテーマは「ソレイユスナックの原価管理」。

仕入れ原価、売り値、労働時間、人件費などを積み上げていく。ストップウォッチ片手に従業員の動線を追いかける。同じ研究室の3人チームで、店の仕事も手伝いながら、その結論。「作業時間を減らし、人件費を抑制できる。工場経営と同じ」。なにやら、いまの仕事と相通じるようでもある。

このころ、世はバブル景気(1986〜91年)に浮か

お陰で魚の目利きのみならず、包丁さばきも板についた。いまや魚料理にかけては雑誌の「晩酌レシピ」特集を飾るほどの腕前だ。2016年には自宅庭に耐火レンガのピザ窯も作った。

一方でフルマラソンを走ってストレスを発散するスポーツマンでもある。

会社の年商は約435億円、パートを含め従業員は約2500人にのぼる。販売部長(役員)などを経てトップになったが、桐生さんは「次の六つのマ

# 地産地消 スーパー率いる



「あやふやは嫌い」と桐生さん

「あやふやは嫌い」と桐生さん。おいしい▽他の店にはない、ちよ

鮮度のよいものを好みます。それを敏感に商品棚へ反映させ、食卓へ届けていきたい」

まさに地産地消。地域に寄り添った戦略は、均一商品の量販を第一とする「チェーンストア理論」では真似できない点だろう。

北雄ラッキーのルーツは、名誉会長である父・桐生泰夫さん(79)が1971年、札幌市内で起こした食品小卸売会社。82年に衣料を扱う会社と合併、現社名に。長男の桐生さんは跡継ぎと目されるはず。

が、禍福はあざなえる縄のごとし。バブル崩壊の暗雲が漂い、父の元へ。「苦勞するぞ。やめとけ」。反対しつつ、迎えてくれた。

スーパーは肉、野菜、酒など品目ごとにバイヤーを養成する。北雄ラッキーは現在10部門。移った91年からほぼ10年間、桐生さんは魚部門で修業した。漁港、季節で上がる魚介類は違う。市場を歩き、棚での売り方に知恵を絞りつつ仕入れていく。食肉専門学校へ通ったこともあ

「おいしいもの▽「食の安全」をモットーに健康にいい▽食べやすいよう小分けにパック▽量産品も売っていい▽地域密着型の商品」と視野は広い。品ぞろえのカテゴリーも食材の特長や各国の料理法などを念頭に細分化していくという。

「あやふやなやり方が嫌いなんでね。理論立っていないとダメで」。経営には合理性を尊重系マインドがフィットするということなのだろうか。

「あやふやなやり方が嫌いなんでね。理論立っていないとダメで」。経営には合理性を尊重系マインドがフィットするということなのだろうか。



# 受験期へ各種講座

## 12月キャンパス見学DAY

### クリスマスイルミネーション・イベントも

今年度最後の受験生向け「キャンパス見学DAY」が12月18日、津田沼校舎で開かれた。市民向けのクリスマスイルミネーション・イベントも同時開催され、受験生と地域住民約1290人が足を運んだ。

冬休みが終われば入学試験期間に突入！来場者の多くは受験生で、入試ガイダンスや受験対策講座・数学、英語に参加。2号館3階大教室で開かれた学科相談会では志望学科について詳細な説明を受けるなど、真剣

なまなざしで取り組んでいた。「集まれ！1、2年生は受験には間がある高校生たちに、本学の施設や学科、大学生活を紹介する講座。入試広報課職員の解説のもと、ものづくり展示やコンピュー

タ演習室、工作センターを見て回り展示物と機器類に好奇心を募らせていた。学生企画のキャンパスツアーは、施設を効率的に見て回りたい来場者に応え、4号館1階「CITスポット」では学生た

ちが撮りためた写真でキャンパスやクラブを紹介した。

制作コーナー▽サイエンスショー▽ロボット操縦体験▽ロボティクス・メディア・アート▽コマ大戦▽オセロ名人に挑戦ーなどを展開。近隣市民たちは少し早いクリスマス気分を楽しんだ。

また、ロボットやコマのアトラクションを通じて科学技術に触れた。来場した高校生や市民から「学生スタッフ、先生方が優しく」「いろいろな体験ができて楽しかった」「イルミネーションを毎年、楽しみにしています」など、たくさん感想が寄せられた。



受験生や保護者が詰めかけた入試ガイダンス



CITものづくりを見学



各学科の相談会



クリスマスツリーを作ろうコーナー



メディアアートで投影画像を楽しむ



サイエンスショー



フィルムロケット作り

デザイン科学科の久保田拓朗助手が1月7日に死去した。28歳。久保田助手は平成26年4月にデザイン科学科助手として勤務。ものづくりの楽しさや技術を少しでも伝えていきたい、と熱心に教育に励み、学生たちから慕われていた。



久保田助手が死去

### 編集だより



例年になく、今年は仕事始めからセンター入試までの期間が短く、新年早々からめまぐるしい忙しき。本格的な入試シーズン到来に、一層身が引き締まる思いだ。

この時期には、受験生や、保護者からの問い合わせ電話が殺到し、デスクワークがほぼ手につかない。毎年、なぜ募集要項で確認しないの？ウェブでも公開してほ...と、見えない相手に笑顔で丁寧に対応しつつ、少々不満を抱いていた。

しかし、恥ずかしながら、私も同じような過ちを...。息子の高校受験に必要な提出書類を記載する際、志願者の欄に自分の名前をうっかり書いてしまった、これはいかんと、例を参照すれば、見本通りの生年月日

を書いたり...ああ、こういうわけか！(苦笑)。最近、多少の願書不備の山には動じない。受験生や受験生の保護者の気持ちに寄り添うことで、大学側でも何か方法がないのか？と、職員同士で改善策を思案するほど。2月3日と続く入試シーズン。受験生と共に、この冬を乗り切ろう！

入試広報課 大橋 慶子

知り合いの方に大きな渋柿をいただいたので、初めて干し柿作りにチャレンジしました。取りあえず、皮を剥いて吊してみたものの、心配になり、ネットで調べると、熱湯につける、焼酎を霧吹きでかける、白カビは絶対ダメなど...

(いつもは、下に落ちてクワークがほぼ手につかない。毎年、なぜ募集要項で確認しないの？ウェブでも公開してほ...と、見えない相手に笑顔で丁寧に対応しつつ、少々不満を抱いていた。

すっきり気をよくして、来年は庭にある渋柿(いつもは、下に落ちてクワークがほぼ手につかない。毎年、なぜ募集要項で確認しないの？ウェブでも公開してほ...と、見えない相手に笑顔で丁寧に対応しつつ、少々不満を抱いていた。

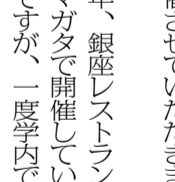
### 四季雑感



色々やることがありました。慌てて、焼酎を買ってきたりして、干し直し。知ってしまったと色々気になるので、天気が良い日は日当たりのいい軒下にかけて、カビがないかチェックしたり、追加で焼酎をかけてみたり...

1月に入り、寒さとともに、受験シーズン到来。電車内で、単語帳とにらめっこしている受験生らしき高校生を見ると、懐かしくなります。大事な日に、雪など降って、電車が遅れたり止まったりしませんように。

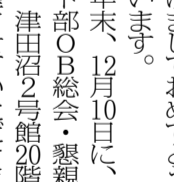
### 同窓会



開催してみよう、ということになりました。大学同窓会本部には、住所不明OBの調査、グッズの提供等、強力なご支援をいただきました。

昔、練習海面であった稲毛沖を遠望しながら、沈み行く太陽と富士山の眺望は、塩気のある男達が、しばしば見とれるほど見事なものでした。

### 同窓会



明けておめでとうございませう。昨年末、12月10日に、ヨット部OB総会・懇親会を、津田沼2号館20階で開催させていただきました。

OBは、新習志野校地を訪問して、至福のひとときを過ごしました。

### 同窓会



OBは、新習志野校地を訪問して、至福のひとときを過ごしました。

OBは、新習志野校地を訪問して、至福のひとときを過ごしました。